

# だいせん 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



上の写真:太田ひがし幼稚園の元気な子ども達

左の写真:《ちょっとみちくさ》「つばめの繁殖地」

中仙地域の長野下川原の長沢信男さんの作業場につばめの巣が17個もあります。毎年春には帰って来て、子育てをしてたくさんのつばめが巣立っていきます。  
長沢さんは奥さんと一緒につばめの成長を暖かく見守ってくれています。

## 主な内容

## CONTENTS

- 第2回定例会・第2回臨時会概要、市政懇談会概要 2～3
- 6人の議員が一般質問 4～6
- 委員会審査のあらまし 7
- 政治倫理審査会報告 8
- 議会のうごき、請願、政務調査費報告 9
- 市民の声、パワースポット、編集後記 10



# 第2回定例会 6月4日(月)～6月20日(木)17日間

## 17件の議案と1件の請願を議決

第2回(6月)定例会は6月4日に招集され6月20日までの17日間の会期で行われました。

本会議第1日目に人事案件2件、条例案7件、単行案3件、補正予算案3件の計15件が提案され、同日に人事案件の2件を同意と決しました。

第2日目と3日目には一般質問が行われ、6人の議員が市政全般にわたって市当局の見解を質しました。

第4日目の最終日には2件の人事案が追加提案され、提出された議案をいずれも原案可決、同意と決し第2回定例会は閉会しました。主な内容は次のとおりです。

### 人事案

#### ▽人権擁護委員の候補者の推薦つき意見を求めることについて

(全会一致で同意)

- ・中沢宏哉氏(神岡神宮寺)新任
- ・佐々木正広氏(南外上野)新任

#### ▽教育委員会委員の任命について

(全会一致で同意)

- ・富樫佳典氏(大曲東川)再任
- ・鈴木直樹氏(中仙長野)新任

### 条例案・単行案

#### ▽大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数で原案可決)

東日本大震災からの復興に関し、防災の

税の大幅減税を実施する一方、庶民には増税となるものであり、低所得者や被災者を含め個人住民税の均等割の引き上げ、退職所得の10%税額控除の廃止には賛成できないものであり、反対討論とする。

#### ▽大仙市上淀川エコ対策コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致で原案可決)

同センターの管理及び運営について、指定管理者制度を導入できることとするため、必要な事項を定めるとともに所要の規定の整備を行うもの、施行期日は公布の日。

#### ▽大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致で原案可決)

同施設の管理運営を指定管理者に行わせるに当たり、水沢世代交流福祉館及び中淀川世代交流福祉館の利用料金制度を平成25年度から導入するための必要な事項を定めるもの。

#### ▽大仙市簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致で原案可決)

西仙北地域の九升田上簡易水道及び九升田下小規模水道について渇水期の水源枯渇、降雨時の濁り水等による給水制限や給水中断に苦慮してきており、施設の高齢化も著しいことから、九升田地区を公営の強首地区簡易水道の給水区域に含めることとするもの。

#### ▽大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について

田地区175人)  
 ②計画1日最大給水、596㎡/日(うち九升田地区53㎡/日)  
 ③財産の取得について  
 (全会一致で同意)  
 冬期間の市民生活の交通網確保と地域産業の円滑な活動推進を図るため、除雪機械の計画的な更新を行うもので、老朽化により作業効率が著しく低下し修繕費が増加している除雪機について更新をおこなうもの。  
 財産の内容はロータリー除雪車2、2m級1台、取得金額は2,085万3千円

### 補正予算

#### ▽平成24年度大仙市一般会計補正予算(第2号)

(全会一致で原案可決)

【主な内容】

- ・歳入歳出予算の総額に3億2,006万3千円を増額するもの。
- ・歳入▼地方交付税、分拍金、国庫補助金、県補助金、繰入金、繰越金、市債等の増額補正と国庫負担金、県負担金の減額補正。
- ・歳出▼小規模介護施設等整備事業費補助金1億4,160万円、農業体質強化基盤整備事業費6,700万円、青年就農給付金事業3,000万円、医療給付扶助費1,017万6千円、児童館管理費961万2千円、法人立保育所補助金959万7千円、空き家等対策費750万円等の増額補正。庁舎改修事業費2,962万2千円の減額補正。

# 第2回臨時会

4月26日(木)1日間

# 市政懇談会を開催

4月26日開催の平成24年度第2回臨時会には、平成23年度一般会計補正予算(第15号)や市税条例の一部改正案など<sup>\*2</sup>専決処分報告5件と、協和地域の財産区管理委員会<sup>※2</sup>の選任28件、市民体育館条例の一部改正案、損害賠償の額を定めることについて、平成24年度簡易水道事業特会計への繰入額の変更と同特別会計補正予算(第1号)、平成24年度一般会計補正予算の議案33件が上程され、全会一致で報告5件の承認と議案33件を可決しました。

専決処分報告のうち、平成23年度一般会計補正予算(第15号)は、基金の積立や事業費の確定に伴う補正で補正額2億9,804万1千円、補正後の予算総額は468億5,218万1千円となります。

市民体育館条例の一部改正は、西仙北地域の小・中学校統合に伴い廃校となった旧土川小と西中の体育館を市民体育館として一般利用するため使用料などを規定するものです。

損害賠償の額を定めることについては、市が管理する水道の止水栓の管理瑕疵により相手方住宅に与えた損害を賠償するもので賠償額は115万9,926円となっています。

また、平成24年度一般会計補正予算(第1号)は、4月3日～4日の暴風災害による被害対策が主なもので、補正額

は3億142万2千円、補正後の予算総額は443億395万5千円です。補正の内訳は、暴風災害関連では、災害廃棄物の撤去及び処分に係る災害応急対策費1億312万円、農業用ハウス等の被害農家への特別見舞金として災害救助補助費636万円、農業生産施設災害復旧に対する県補助金制度創設に伴う暴風被害復旧支援対策事業費8,029万6千円などとなっています。その他、豪雪による市道の補修に係る道路維持管理費4,159万3千円、南外支所対象の小型ロータリー除雪車購入費として1,890万円、社会教育施設の豪雪及び暴風災害復旧事業費1,641万5千円などが盛り込まれました。



土川体育館



西仙北西体育館

## 市政懇談会に

333人の市民が参加

この度議会基本条例に基づき、議会改革推進会議初の市政懇談会が6月25日～29日5日間に渡り開催されました。別表のとおり、総勢333人の参加を頂きました。議員が5班編成により、地元議員を含め各地域10箇所を回り、たくさんの方の貴重なご意見ご要望ご提言を頂きました。

内容は、地域の身近な問題から、全体的な問題、要望、いろいろありましたが、特に医療関係、空き家対策、防災、飛来災害、少子化対策、ガレキの安全、東部地区小中学校統合時期等が多くありました。個別箇所要望事項も含め後日、回答を報告させていただきます。

また、議員定数、報酬等につきましては、意見等で市民より、旧市町村より人数減となっているし、地域の声が届かなくなる事が心配である。また、報酬についても適正と言う意見の中で、それなりの活動をしていくことが大切であるし、そう望みますとの意見がありました。

こうした報告、懇談会は非常に良いことであるし、開かれた議会として今後もよろしく願いますとの

声も多く寄せられました。

詳細については、後日、だいせん議会だより30号でお知らせいたします。

## 「市政懇談会」への出席者数

期 日	会 場	人 数
6月25日	南外コミュニティセンター	41人
	はびねす大仙	22人
6月26日	内小友公民館	8人
	角間川公民館	17人
6月27日	神岡福祉センター	26人
	中仙農村環境改善センター	53人
6月28日	協和支所	31人
	太田文化プラザ	23人
6月29日	西仙北支所	72人
	仙北支所	40人
計		333人





大地の会 議員 石塚 柏

Q 公共施設の更新は出来るのか

A 全施設を更新するのは財源上困難である

**質問** 高度成長期に建造した公共施設の更新が一時的に集中するが、その時に財政が耐えるのか、検証が必要ではないか。

**市長** 今後10年間で約100施設、30年間で約300施設について修繕や改修が必要になる。この全施設を維持するのは、財政上困難である。今後市職員による「公共運営改善チーム」で施設更新計画を作成していく。

**市長** 居宅サービスは、市で支障となると認められた時は指定を拒否出来る事に法の改正がされた。包括的な協議を経て指定の是非を判断していく。

**榊田清兵衛翁の顕彰碑の補修計画は**

**質問** 旧大曲町出身の元衆議院議員の榊田清兵衛翁は旧国鉄田沢湖線の開通、山形県庄内の赤

**教育長** 市では記念碑の補修と碑文解説板の設置を支援する。教育委員会では郷土の偉人として六十一人を取り上げ郷土教育の充実に務めている。

榊田清兵衛翁の顕彰碑

**増え続ける介護施設をこのまま増やして良いのか**  
**質問** 秋田県のショートステイ施設数が高齢者一人当たり全国最多になった。施設の供給過剰要介護者のサービスの低下が予想されるが、市が開設を抑制する事はあり得るのか。



一般質問

一般質問



新政会 議員 小松 栄治

Q 再生可能エネルギー導入の見通しと計画は

A 避難所や防災拠点・公共施設への導入を進める

**質問** 一般住宅、医療機関、公共施設等への再生可能エネルギーの導入と普及、支援等を行うのか、その計画と見直しを伺う。

**市長** 東北電力大曲営業所管内の太陽光発電設置件数は一般家庭で424件、公共施設等への導入は国の交付金を原資とする秋田県再生可能エネルギー等導入推進臨時対策基金を活用し県や市の地域防災計画に位置づけられている避難所や防災拠点施設として公共施設等に2015年度までに4億8,700万円の事業費を見込んでおり、手始めに刈野の温泉ユメリアに太陽光発電システムや温泉排熱等と地下水を利用し館内の冷暖房を行うヒートポンプの設置を2013年度に計画しており、9月定例会に実

施設計費の補正予算案を提出する予定である。

使用に当たっての計画と秋田市の大型木材工場への大仙市からの投資と木材の供給は今後どれくらいなのか。

**質問** 未利用の土地と建物は今後どのように活用するのか。また、有償、無償に貸付している土地、建物は売却しているのか。

**市長** 土地改良区の統廃合は統合整備推進協議会で組織の運営基盤の強化等や再編整備を協議し将来の統合に向け、土地改良区が主体となり活動を展開している。

**市長** 土地建物の売却は基本的には入札でおこなっている。また、今年4月統廃合になった旧北神小学校は音楽関係者の練習場に旧南外西小学校は生涯スポーツの場として西仙北地域の旧土川小学校は教育委員会の備品保管施設として、旧西仙北西中学校の一部は新規就農者研修施設として、旧双葉小学校と旧大沢郷小学校は地域協議会の意見を参考にし、利活用を決定したい。

**質問** 土地改良区の統廃合は進めていくのか。また、公共施設への木材

公共施設への木材の利用については木材利用促進基本方針を策定しており順次木材を使用していく。また、秋田杉大規模製材工場建設事業に補助金4,652万1千円を木材の供給は市内より年間9万石を予定している。なお、秋田製材協同組合へ20名が大仙市内より雇用されている。  
※小松議員はこれらのほか、「大仙市の産業の創出と雇用について」、「大仙市の観光について」、「大仙市の入札について」の質問も行いました。

6人の議員が市政全体にわたり市当局の見解をいただきました。以下はその要旨です。



大地の会

大野忠夫 議員

Q 26年度開院予定の組合病院  
医療従事者の所要数確保は  
万全か

A 現在充足率は100%超であり  
関係者の努力で確保できる

**質問** 秋田県ドクターバンク求人登録の現状から組合病院26年開院時の医師・医療従事者確保・診療科の充実等厳しいのでは。

**市長** 24年5月現在医療従事者充足率で医師法による法定必要数は確保出来ている。また、関係者の努力により医師確保できるものと考えている。診療科については歯科口腔外科、がん緩和病床の設置及び現診療科の充実に配慮いただくことになっている。

市の取組みとして「産科医等確保支援事業」の実施、年末年始一次救急医療の経費負担・市街地再開発区域に夜間保育対応児童福祉施設整備など就業環境の整備と共に医師・看護師等の医療従事者の確保は地域医療の重要課題と認識している。

JRDC・東北観光博、国民文化祭への参加と活用について

**質問** 観光立国基本法では、観光は地域経済の活性化、雇用機会の増大、国民経済、生活安定向上等あらゆる領域に貢献するとして定められている。23年JRDC（デステネーションキャンペーン）、24年東北観光博、26年国民文化祭と応援の企画が開始している。どのような思いで参加するのか伺う。

**市長** 何れのイベントも地域が一体となり取り込むことで震災復興や地域経済の活性化に寄与するものと考えてるので誘客活動に取り組んでいく。  
**質問** 東北観光博ゾーン運営会議等に参加していると思うが、大仙市観光振興計画を含めどんな要望、要求を出したのか、

ゾーンから抜けたのか伺う。ただ抜け名前がないのは最大の問題だと思っていたが観光博スタート前に一言も相談なかったの、我々の話を企画に生かすとか聞く場はなかった。運営協議会の活動については報告ももらっていないがJRDCと国民文化祭を絡めていくことは十分わかるので大仙市の観光PRをしっかり企画していきたい。国文祭については旧池田氏庭園活用ミニ園遊会、全国規模囲碁サミット、秋田美人と木村伊兵衛テーマの全国写真工房展、民謡の祭典、花火文化イベント等企画について県に提案し協議している。

※大野議員はこれらのほか、「地域防災計画の見直しについて」の質問も行いました。

## 一般質問



市民クラブ

佐藤隆盛 議員

Q 出稼ぎ者の  
安全安心就労の対策は

A 県と連携し安全安心  
就労に取り組んで行く

**質問** 市長の出稼ぎに対する考えは。

**市長** 出稼ぎの数は、以前とは比べられないほど少なくなっているが、かつては秋田県の農村経済に多大な貢献をした労働力であり、現在でも必ず故郷に帰ってきて家計を支える大切な方達という思いは変わらない。従って、出稼ぎ者の援護対策については、状況の変化に合わせてながらも、県内で現在最も多い地域と継続して参りたいと考えている。

**質問** 出稼ぎ者は減少しているが就労前の健康診断の実施や障害保険の加入支援と就労先への広報、地元の送付など援護事業を継続している。

## 出稼ぎ者の 安全安心就労は

出稼ぎ者は減少しているが就労前の健康診断の実施や障害保険の加入支援と就労先への広報、地元の送付など援護事業を継続している。

**市長** 平成22年度から「出稼ぎ者援護事業総括会議」を開催し当時就労中の検診を行っていた有明佳臣医師、大曲仙北医師会、県出稼ぎ連合会、秋田県出稼ぎ経験者の方々から参集いただき、現在の出稼ぎ状況について意見交換を行なっている。また、県の東京事務所に

**市長** 平成19年度に就労中に病気になる、地元での治療費に適用されたケースは一件あり、賃金不払いについての問題事例は無いが今後ともハローワーク及び労働基準監督署と連携し問題が発生しないよう努めていく。  
**質問** 市としては、どの様に安全安心の実態を把握して

訪問に努めている。今後とも県と連携し安全安心就労に努めて行きたいと考えている。





公明党 杉沢千恵子 議員

Q 防災・減災ニューデール

A 25年「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し計画的に進める

**質問** 災害時の生命を守る道路や橋等の倒壊を防ぎ、かつ経済の活性化を図るために、耐用年数を超えるものの修繕や更新の前倒実施はできないか。

**市長** 道路や上下水道等のライフラインであるインフラ施設の修繕等については、これまで各年度必要とされる箇所の整備は随時進めてきている。市民の皆様が快適で安全に暮らすことができる住環境づくりに努めている。

一定規模の財政出動を要するものについては、実施計画の記載の上、毎年度見直しを図りながら計画的に整備を進めているが、気象条件や経年劣化など様々な公共施設耐震補強工事などについては計画年度前倒し実施をしている。橋梁は、平成23年度より国の交付金を活用し、老朽化する橋梁の増大に対応するため、従来の「事後的」修繕及び架け替えから「予防的」な政策転換を図る。平成25年「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な点検や補修を進める。計画の前倒しは、財政を勘案し綿密な計画を策定した上で、実施すべきと考える。

用し、老朽化する橋梁の増大に対応するため、従来の「事後的」修繕及び架け替えから「予防的」な政策転換を図る。平成25年「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な点検や補修を進める。

**質問** 不登校引きこもりと感している。のサポート行政の縦割り業務、幼保、小中での組織の中で育ちは、心の部分が見えず、すき間からもれてしまう子がいる。一人一人の個性を認めてほしい。

**副市長** 3歳児健診から、早期発見・早期支援の強化のため、臨床心理士を新たに配置し、健診後、個々に応じた切れ目のない支援を図る。関係機関とも情報を共有し、組織的に対応していく。

**市長** コミュニティFMは地方自治体に免許は認められないので、市として民間の方々と職員でプロジェクトチームを設置し、秋頃まで報告をまとめ、市として防災ラジオの導入と併せて検討する。災害時にはリアルタイムに情報発信が可能であり市民の安全安心を守る立場としても有効である

「通学路の安全対策について」の質問も行いました。



児童下校時の見守隊

一般質問



日本共産党 佐藤文子 議員

Q 高齢・低所得世帯の危険家屋対応は

A 市営住宅への入居と民間家賃補助を検討

**質問** 安全な居住生活について、倒壊などの危険にさらされている高齢者世帯や低所得世帯の家屋対策は補助制度としての耐震診断、耐震改修工事とは別の手立てを講ずる必要があると思う。

現に居住している高齢者世帯、低所得世帯の耐震診断、危険度調査を無料で行うことができないか。

また、危険家屋への対応として、居住継続者に対する改修補助の抜本的改善と転居希望者への家賃補助を実施すべきと思うがどうか。

**建設部長** 大仙市木造住宅耐震改修補助金交付要綱では、耐震診断補助は、診断費の3分の2で上限3万円、耐震改修は改修費の23%で上限50万円と定めており、高齢世帯、低所得世帯に対して特

別な制度を設けることは難しいと考える。耐震化の啓発を行っても十分な耐震化率の向上が望めない場合は、国、県の補助動向を見据え補助率アップなどの対策も検討していかねばならないと考える。

耐震診断で倒壊の危険があると判定され、転居を希望される世帯には市営住宅への入居が考えられる。市営住宅での対応が困難な場合は民間の家賃住宅を利用し、家賃補助を行うような制度設計を現在検討している。

**質問** 学校給食の無料化について、秋田県八郎潟町では今年4月から、兵庫県相生市では昨年4月から実施している。当市でも子育て支援拡充と食育の観点から無料化してはどうか。当市の学校給食納付金分3億4千万円を市が全額負担すると

しても、一般会計予算の1%に満たない額であり検討願うものである。

**教育長** 学校給食法を踏まえ、食材費は実際に食べる子どものご家族に負担していただいている。今後も給食事業を円滑に推進できるよう、経済的に苦勞している保護者に対しては補助金(生活保護法による国の補助制度、幼稚園保護者に対する県のすこやか子育て支援事業による補助、市の準要保護者への補助)申請などの紹介や分納など納めやすい環境づくりに努めてまいる。また、健全な子育てのために家庭学校、行政がお互いに責任をもった役割分担が必要と考え、給食食材費についてはこれまでどおりとさせていただきます。

※佐藤議員はこれらのか、「国保の広域化について」の質問も行いました。

※佐藤議員はこれらのか、「国保の広域化について」の質問も行いました。

## 総務民生常任委員会

当委員会に審査付託となりました案件は、条例案3件、単行案1件、一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案1件で、条例案、単行案は「大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について」震災復興財源のため均等割を県税と合わせて毎年千円を10年間課税するもの、市民経済の更なる悪化をもたらすとの反対討論がありました。賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、外国人登録が住民登録に移行することによる「大仙市印鑑条例及び大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」「秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について」は原案のとおり可決及び同意すべきものと決しました。大仙市在住の外国人は5月時点で223人とのこと。また、法令上3ヶ月以上滞在した外国人は、国民健康保険に加入することになっており、同時に年率にも入ることになっているとの説明がありました。「大仙市上淀川エコ対策コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について」は、使用料から利用料金制に移るもの、同様の施設は他にもあるので、それらを一括して改正してはどうかの意見を付して採決しました。

また、「一般会計補正予算」並びに「国民健康保険事業特別会計補正予算」については、もう少し事業を迅速に粛々と進めるようにとの意見を付して原案のとおり可決及び同意すべきものと決しました。なお、国民健康保険の税率は昨年と同様であります。  
(委員長 渡邊秀俊 記)

## 企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となりました案件は、単行案1件、平成24年度一般会計補正予算案1件で、いずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

単行案は、「大仙市過疎地域自立促進計画の変更について」であり、質疑において、「ソフト事業も過疎債を使えるという制度ができたことにより、単に財政手当てのための計画ではなく、事業の優先度を明確にし、過疎地域を自立させるための、方向性をもった計画の作成が必要ではないか。」との質問があり、「過疎計画の中で地域の活性化についてみていくことは当然のことで、今後も許容の範囲内で、過疎債を有効活用していきたい。」との答弁がありました。

また、一般会計補正予算では、「ふるさと応援活用基金事業」の今後の活用計画についての質問や、「青年就農給付金事業費」・「観光推進事業費」の大曲駅発車ベルのメロディを”秋田おばこ節”に変更する件などにも質疑、答弁がありました。

また、請願第15号「T P P交渉参加に向けた協議の中止を求めることについて」は、その願意は妥当であるが、すでに平成22年第3回臨時会において、同一趣旨の内容で意見書第11号を秋田県内各市町村に先駆けて提出していることから、出席委員の一致により、趣旨採択すべきものと決しました。  
(委員長 茂木 隆 記)

## 教育福祉常任委員会

当委員会に審査付託となりました案件は、単行案3件、一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案1件で、単行案は「世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について」「西仙北高齢者ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について」「西仙北スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について」でありました。「西仙北高齢者ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について」は、使用料金について質疑があり、減免規定も含めてこれまで通りの運用をしていくことの説明がありました。

また、「一般会計補正予算」並びに「学校給食事業特別会計補正予算」については、食品放射性物質検査機器の購入について質疑があり、これまでも行っている検査に加え更に安全・安心を高めるために購入し、学校給食だけでなく保育園の給食や一般家庭の自家消費の部分についても申請があれば検査を行っていききたいなどの説明がありました。

その他、南外地域の3児童館についてトイレや屋根の補修を加えた後に譲渡することの説明や刈和野保育園の屋根の改修工事の説明などがありました。

すべての説明に対して質疑・討論の結果、出席委員の一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 大山利吉 記)

## 建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となりました案件は、条例案1件、単行案1件、平成24年度一般会計補正予算案1件で、いずれも原案どおり可決または同意すべきものと決しました。

条例案の「大仙市簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、西仙北九升田地区の二つの組合営水道を廃止し、強首地区簡易水道に組み入れ、水不足や施設の老朽化を解消するための強首地区簡易水道区域拡張事業を実施するものです。

単行案は、仙北地域に配備するロータリー除雪車の取得について、2,085万3千円でTCM株式会社角館営業所より購入するものです。

平成24年度一般会計補正予算(第2号)は大曲、西仙北、中仙、南外地域で凍上災害箇所の災害査定を受けるための測量設計委託料1,195千円、南外地域の不動の滝公園遊歩道の災害復旧事業費として1,045千円、大曲二ツ屋簡易水道組合の新規水源ボーリングと水中ポンプ設置に要する経費の3分の1相当の補助金700千円の増額補正でありました。  
(委員長 竹原弘治 記)



南外地域「不動の滝」

## 政治倫理審査会の審査報告の概要を公表します

議会議員政治倫理条例の規定に基づき、議員に関係する私企業と1件あたり10万円を超える請負契約について、平成24年3月5日付けで4人の議員から2議員が政治倫理条例に違反していると審査請求書が提出されました。

議長から付託された議会議員政治倫理審査会では平成24年3月15日から6月12日までの期間で対象となる2議員の内容確認や当局担当者から契約に至るまでの経緯及び請負人との契約実績の調査、関係議員の弁明など計6回審査会を開催しました。これらの審査を通し、審査請求の適否及び政治倫理基準の違反行為の存否について慎重に審査を行い、関係各議員の条例上の疑義及び政治倫理的認識、努力義務の履行などの判断基準に立ち、政治倫理条例の抵触等、勧告の有無において次のとおりの審査結果となりました。(平成24年6月13日、審査結果報告書を議長に提出)

### 【審査結果の内容】

○石塚柏議員～関係私企業の自主的な申告をするとともに、昨年6月に全会一致で同条例を議決し、10月1日に施行されるまでには十分な時間があつたにもかかわらず政治倫理上の認識は無く、市との請負契約を辞退する努力が見られない等の理由から政治倫理条例第5条第1項に抵触している、との意見が多数を占め、必要と認める措置については「注意」勧告としました。

一方、議員は特別に地位や権力を使って動いた訳でも無く、企業のために有利な計らいをした訳でも無い。契約自体が長年、随意契約で続けられてきたことから同条例第5条第1項のただし書きの規定により「抵触しない」との意見もありました。

また、必要と認める措置については、条例が施行されるまでには十分な時間があつたにもかかわらず、努力義務が認められず、同様のケースが発生する可能性もあることなどから「議員辞職勧告」や「一定期間の出席自粛勧告」の意見もありました。

審査結果について、平成24年6月27日付けで石塚柏議員から弁明書が議長に提出されました。

### 【弁明の内容】

先日、この様な会話が路上でありました。

「柏あんた何したの。」「ん、新聞に出たことか。」「そうだ。」「大仙市の政治倫理条例のことだよ。」「何がだめなの。」「兄の会社が大仙市役所の仕事を取ったということが条例に反しているということだよ。」「それが何でうまくないの。」「条例の第5条に議員の兄が仕事を取る事を辞退しなさいと決めているのさ。」「知らなかったな。」「今回、兄が取った仕事はちょっと専門的な仕事で、道路台帳整備と言うのさ。」「それで。」「兄の会社でなく、他の会社にさせると700万円もかかり増しするので、市役所が兄の会社に随意契約で仕事を発注したのさ。」「それじゃ問題はないじゃないか。」「そうさ、市長は政治倫理条例の第5条の但し書きに“市の行政執行に著しい支障がある場合を除く”とあるので、それに該当すると3月の定例議会で答弁しているし、同じ3月の建設水道委員会では、担当責任者が、この仕事を他の会社にやらせるとデータの移行で約6ヶ月間分の仕事が増え、約700万円かかり増しすると具体的に答弁しているんだよ。議事録あるから誰でも確認できるよ。」「お前、納得しているのか。」「してないよ。俺もこの会社を辞めてから13年になるからな。それに、これがきっかけで兄は会社の役員を辞め、会社の株も手放したから、兄の方がよほど納得してないよ。」「そりや大変だったな。兎も角がんばれよ。」「ありがとう。」と言って別れたのでした。

市長は、契約をした時点で、議長に報告しなければなりません。その報告書から一貫して第5条の但し書きの「市の行政執行に著しい支障がある場合を除く、の但し書きに該当する。」と書面で報告しております。本議会でも委員会でも具体的に述べている訳です。

条例の第5条に照らしあわせて、政治倫理審査会が、市のこの意思決定について評価や結論も出さずに、最終結論を出してしまったのは、私にとっては不可解で、耐え難い決定です。

現在の大仙市議会は開かれた議会を目指しております。

会議も議事録も全て公開になっております。市民の皆さんも機会がありましたら是非、傍聴や議事録のご確認を頂ければ幸いです。

### 【審査結果の内容】

○高橋幸晴議員～同条例が議決し、10月1日に施行されるまでには十分な時間があつたにもかかわらず政治倫理上の認識は無く、市との請負契約を辞退する努力が見られない等の理由から政治倫理条例第5条第1項に抵触している、というのが委員全員の意見でした。

また、必要と認める措置については、2月16日に仙北東森林組合の副組合長理事職を辞職していることなどから政治倫理上の認識が認められるとして全会一致で「注意」勧告としました。

審査結果について、平成24年6月25日付けで高橋幸晴議員から弁明書が議長に提出されました。

### 【弁明の内容】

管内の林業の振興に努めて参りましたが、このたび議員政治倫理条例に抵触することになり誠に申し訳なく思っております。

今回の件につきましては平成19年に大仙市と仙北東森林組合とで5年間の契約を結んでおりますが、条例制定以前のことでしたので全く気付きませんでした。

制定後は松くい虫防除などの入札については組合へも事情を話しておったところでした。

政治倫理審査会

委員長	佐藤 清吉	副委員長	杉沢千恵子	委員	佐藤 隆盛	委員	小山 緑郎
委員	富岡 喜芳	委員	渡邊 秀俊	委員	高橋 敏英	委員	佐藤 芳雄

注＝弁明書は原文を掲載



議会のうごき

29日	市政懇談会(西仙北地区・仙北地区)	28日	市政懇談会(協和地区・太田地区)	27日	大曲仙北広域市町村圏組合議会臨時会	26日	市政懇談会(神岡地区・中仙地区)	25日	市政懇談会(大曲西地区・大曲南地区)	20日	東北電力節電説明会、議会報編集委員会	18日	第2回定例会(第4日)、議員全員協議会	15日	各常任委員会審査	14日	各常任委員会審査	13日	各常任委員会審査	12日	第2回定例会(第3日)	4日	第2回定例会(第1日)、会派代表者会議	31日	議員全員協議会、議会改革推進会議	30日	大仙美郷環境事業組合議会臨時会	28日	公共施設運営改善等調査特別委員会	23日	富山県南砺市議会民生病院常任委員会行政視察来庁	17日	埼玉県さいたま市議会改革フォーラム行政視察来庁	16日	岐阜県美濃加茂市議会企画建設委員会行政視察来庁	14日	群馬県館林市議会市民福祉委員会行政視察来庁	11日	富山県水見市議会厚生文教委員会行政視察来庁	10日	政治倫理審査会	7日	政治倫理審査会	6日	総務民生常任委員会所管事務調査	5日	埼玉県川口市議会会派川口みらい行政視察来庁	4日	議会報編集委員会	2日	議員全員協議会、議員連盟総会
-----	-------------------	-----	------------------	-----	-------------------	-----	------------------	-----	--------------------	-----	--------------------	-----	---------------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------	-----	-------------	----	---------------------	-----	------------------	-----	-----------------	-----	------------------	-----	-------------------------	-----	-------------------------	-----	-------------------------	-----	-----------------------	-----	-----------------------	-----	---------	----	---------	----	-----------------	----	-----------------------	----	----------	----	----------------

議長交際費 (4月1日～6月30日)

摘要	件数	金額
弔意	0件	0円
慶祝	17件	124,000円
協賛	2件	13,000円
計	19件	137,000円

【請願】

◆ T P P 交渉参加に向けた協議の中止を求めることについて  
 請願団体 = 農民運動秋田県連合会  
 紹介議員 = 佐藤文字  
 【趣旨採択】

平成 23 年度政務調査費会派 収支状況

政務調査費は、議員の調査研究活動に必要な経費として、会派ごとに交付されているものです。収支の内容は、毎年度議長に報告され、残額がある場合は、市に返還することになっております。

項目	会派名	大地の会 (12人)	だいせんの会 (6人)	新政会 (6人)	市民クラブ (2人)	公明会 (1人)	日本共産党 (1人)	まっすぐ大仙 (1人)
会派への交付額		1,410,000	720,000	720,000	240,000	120,000	120,000	120,000
研究研修額		49,620	0	1,000	0	5,420	0	5,420
調査旅費		1,086,482	480,000	713,000	120,000	27,045	0	106,660
資料購入額		24,750	22,550	0	0	8,750	8,915	7,920
その他経費		9,000	0	6,000	0	0	0	0
支出合計		1,169,852	502,550	720,000	120,000	41,215	8,915	120,000
差引額(返還額)		240,148	217,450	0	120,000	78,785	111,085	0

※ 交付額は1人あたり月10,000円

関係私企業の請負契約等の状況報告

大仙市議会議員政治倫理条例の規定に基づき、市長から関係私企業と10万円を超える請負契約等について、報告がありましたので、同条施行規則第18条第2項の規定により下記のとおり公表します。

関係する議員	高橋幸晴
対象議員と請負人の関係	本人
請負人の氏名	仙北東森林組合代表理事組合長 門脇兵一
事業名又は商品名	市有林保育事業間伐(切捨て)事業
請負契約等の内容	市有林保育事業間伐(切捨て)業務委託
請負契約等の金額	315,000円
請負契約等の期間	平成23年12月2日～平成24年2月29日

用語の解説

※1 【討論】採決前に議題となつてゐる案件に對して議員が反對若しくは賛成の意見を表明すること、意見の異なる議員を自分の意見に同調せよとする意味も含まれてゐる。

※2 【専決処分】議会の議決を要する案件等について、議会を招集する時間的余裕がない場合などに市長が議会に代わつて処理すること、市長は専決処分後、議会に報告し承認を求めなければならない。

市民の声

大仙市定例議会を傍聴して

6月13日、女性議員2氏の一般質問で、未来の宝である子ども達への関心課題は、女性議員の一生懸命さが伝わってまいりました。私達大人がしっかりサポートして成長を見守っていかうと決意させられました。

他に2・3人の学生が静かに傍聴しているのにはおどろきました。

これからも、機会をつくり傍聴に行きたいです。

大曲 70代 女性

議会を初めて見て、こんな話しているのかと、まじめに聞きました。一番気になった話は、福祉サポートについてです。色々と考え提案しているんだなと思いました。

初めて来て、こんな話を聞けてよかったですと思います。

また、見学に行く機会を作って、是非行ってみたいと思います。

協和 高校生 男子

訪れる方が少ないのは、非常に残念なことです。議会や市政に関心が薄れているのは、市への関心が薄れていることにつながります。教育に関する項目には生徒が見学できるように、その他項目には関係する団体から出席見学してもらえると、関心が高まるきっかけになると思います。

大曲 30代 女性

9月定例会日程のお知らせ

- 8月30日(木) 本会議第1日(市政報告・議案上程等)
  - 9月10日(月) 本会議第2日(一般質問)  
対面式一問一答方式
  - 11日(火) 本会議第3日(一般質問・議案質疑・決算特別委員会設置・委員会付託)
  - 12日(水)・13日(木) 常任委員会審査
  - 20日(木) 本会議第4日  
(委員長報告・質疑・討論・表決)
- ※ 現時点での予定であり、変更される場合があります。

鎌田正議長に永年勤続表彰

5月23日に東京都日比谷公会堂で開催された「第88回全国市議会議長会定期総会」において、鎌田正議長が在職15年以上により、永年勤続者表彰を受けられ、第2回定例会1日目の本会議開会前に藤田君雄副議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



大仙市のパワースポット(仙北・太田地域)

何百年も生き続け私達人間を見守って来た巨木からは私達に生きる力を与えてくれます。



①仙北地域「真山の太杉(姥杉)」菅江真澄の文に「真山の石神の三本の太杉はいずれもとしふる大じや」とある。



②仙北地域「北畑の杉」延宝5年、板見内神社の象徴として風雪に耐え生き続ける杉で北畑の杉と呼ばれ親しまれている。



③太田地域「宮内のイチヨウ」三本扇地区の宮内神社の境内に二本の大イチヨウがある、寛政7年に宮内村の肝煎である惣兵衛という人が寄進して植えたものと伝えられている。

次回は西仙北・協和地域

編集後記

議会改革推進会議による初の市政懇談会が、議員5班編成により6月25日～6月29日の5日間、10会場で開催されました。その間市民の皆様方からは、お忙しの中にもかかわらず多数ご参加頂き、貴重なご意見ご要望を賜り感謝申し上げます。

皆様方から頂いたご意見ご要望等は、報告書に取りまとめ、議員全員協議会で報告され、議会のホームページにも掲載されますし、また、重要事項については議長を通じて市長部局へ報告することになっており、その後、皆様方へ回答致したいと思っております。

今後、市民の皆様のご意見ご要望を市政へ反映させるため、努力して参りたいと思っておりますので、定期開催に限らずご要望があれば、小集落単位でも出向いて開催していきたいと思っておりますので、皆様方のご連絡をお待ちしております。

編集副委員長

小山緑郎 記